

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1009006

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名 ホームシアター	南部資源リサイクルセンター啓発展示施設保守管理		所管局部課等	環境政策局適正処理施設部施設管理課
			(連絡先)	212-9820
			(評価票作成者)	施設管理課長 山本 孝
22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 効率化等による見直し	24予算額 (千円)	事務事業の内容
1,092	1,092		300	子どもからお年寄りまで様々な方が南部資源リサイクルセンターの啓発展示施設（めぐるくん学ぶハウス）を見学し、ごみ減量とリサイクル問題について「見て、触れて、確かめながら学ぶ」ことができるように、展示内容及び機器の保守管理を行う。
業務運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部分委託 <input type="checkbox"/> 部分補助等 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 全部補助等		委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 委託先: 株式会社ウチダテクノ 委託内容: 施設の保守管理	
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020)		事務事業の性格	<input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的的事业
			会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
			①	事業費 (千円)	5,628	3,049	1,092
		需用費 (保守管理)					300
	①'	委託料 保守管理	5,628	3,049	1,092	1,092	
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)	420	411	781	781	667
		職員(課長級) (人)	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03
		職員(係員) (人)	0.01	0.01	0.03	0.03	0.03
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)	6,048	3,460	1,873	1,873	967
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)					
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)					
		その他 () (千円)					
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	6,048	3,460	1,873	1,873	967
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成23年度
(平成22年度分)

II 評価結果

事業名 南部資源リサイクルセンター啓発展示
施設保守管理

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①		南部資源リサイクルセンター見学者数	人	2,249	2,316
②		年間経費 (事業費及び人件費の合計額)	千円	6,048	3,460	1,873
③		単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,689	1,494	995
④		単位当たり経費変動率			-44.4%	-33.4%
分 析	(コスト変動の理由等)			評価	かなり良くなった	かなり良くなった
	平成21年度と比べ、平成22年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 見学者数は減少したが、平成21年度に実施した一部機器の更新経費が減少し、単位当たり経費が削減できた。					
B 市民満足度	<調査の有無>		<調査方法>		<調査時期>	
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない					
(調査結果、現状分析等)						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境		<現状分析、今後の方針等>			
	<input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般		市民しんぶん、HP、パンフレット等によって施設の紹介を行い見学者数の増加に努める。 施設見学を魅力あるものとする事により、市民の環境意識が向上し、ごみ減量やリサイクルの取組の広がりにつながり、循環型社会の構築に寄与する。			

平成23年度の実施状況

市民へのリサイクルの啓発に必要な機器や展示物の保守管理を実施した。

III 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
効率化等による見直し	啓発展示施設の保守管理経費について、来年度は故障対応の経費のみ計上することとし、施設の安定稼働を確保しながら経費節減を図る。 本事業については、南部資源リサイクルセンター運営事業と密接に関連した事業であるため、来年度から南部資源リサイクルセンター運営事業と統合し、一体的に管理することとする。